

”全国初の完全ワンストップ化”の実現

—「オール京都」体制（公・労・使）による「京都ジョブパークモデル」—

京都府知事 山田 啓二



京都ジョブパークは、平成19年に公・労・使の「オール京都」体制により設立し、就業から生活相談、生活再建までをワンストップでサポートする文字どおりの「総合就業支援拠点」です。

若年者、中高齢者など、それぞれの得意分野の担当カウンセラーによる、きめ細かい継続的なご支援で就業実現を目指す体制をつくっているほか、求職中で生活にお困りの方の就労と生活相談を一体的に行う「自立就労サポートセンター」、子育て中のお母さんへの就業と保育所探しなどの

育児支援を一体で行う「マザーズジョブカフェ」をはじめ、障害のある方の就労を支援する「はあとふるコーナー」、府内の中小企業等の人財確保を支援する「中小企業人財確保センター」、無料で労働相談を行う「京都中小企業労働相談所」など、就労に関するあらゆる支援を、ここ京都ジョブパークの一カ所でできる仕組みをオール京都体制で構築してきました。一方、ジョブパーク内のハローワーク・コーナーの機能が「職業紹介」に限られていたことから、雇用保険や職業訓練の手続きは住居地のハローワークに行っていた必要があり、真のワンストップサービスができていませんでした。

そこで、ハローワーク・コーナーの機能強化による一体的実施を国に提案し、平成24年4月から全国で初めて、府内全域を対象として、雇用保険や職業訓練など就業に関するあらゆる手続きを含めた完全ワンストップ化を実現させるとともに、京都府自らも無料職業紹介権を再取得し、多岐にわたる求職・求人ニーズに対応した質の高い就業支援拠点としての体制を整えることができました。

このように何よりも大切なことは、国と自治体が府民の皆様のために互いに力を合わせて、より良いサービスを提供していくことであり、今後とも、利用者起点を基本とし、一体的運営のメリットを最大限に活かし、府民の皆様が安心・安定して生活・就業できるご支援を行えるよう、進化を続けていきたいと考えています。府民の皆様、是非京都ジョブパークをご利用ください。